

【聖徳大学・聖徳大学短期大学部 アセスメント・ポリシー】

聖徳大学・聖徳大学短期大学部では三つのポリシー（学位授与の方針、教育課程編成の方針、入学者受け入れの方針）を、より高い学習成果の達成を目指して一体的・体系的に策定しました。今後はそれらの整合性を維持し、継続的な評価・改善によって実質化を図り、学生の学習成果をより高い水準にまで引き上げることが求められます。

そこで、本学ではこれまでの取り組みを活かし、三つのポリシーを起点とする内部質保証体制の評価、学習成果の達成度評価、学生の受入方針の評価を組織的に体系化し、この先進的なアセスメントの体系を聖徳大学・聖徳大学短期大学部アセスメント・ポリシーと名付け、更なる教育の質の向上を目指すことにしました。

	類型	内容	アセスメント主体	アセスメント対象	手法	主な実施時期
①	内部 質保証	三つのポリシーを起点とする内部質保証体制の評価	学部・学科 自己点検・評価委員会	学科の内部質保証体制	内部質保証チェックリスト、 エビデンス提示、 内部質保証ヒアリング	毎年1月 ～3月
②	学習成果	学習成果の達成度評価	教員 学生 外部ステークホルダー	学習成果の達成状況	Learning Outcomes、 各種ルーブリック、 間接評価 等	毎年6月 ～1月
③	学生の 受入方針	入学者受入方針に基づく入学者選抜方法の評価	学部・学科 入学センター IR室 教育支援課	入学者選抜方法	入学者の追跡調査、 客観データの分析・検証等	毎年9月 ～10月

アセスメント

一般的には、設定された基準に照らした質的・量的測定を指す。高等教育の質保証の文脈においては、教育機関、教育プログラム、授業科目、学生等が測定の対象となる。それらの測定の中で、学修成果の測定が重要な要素となる。

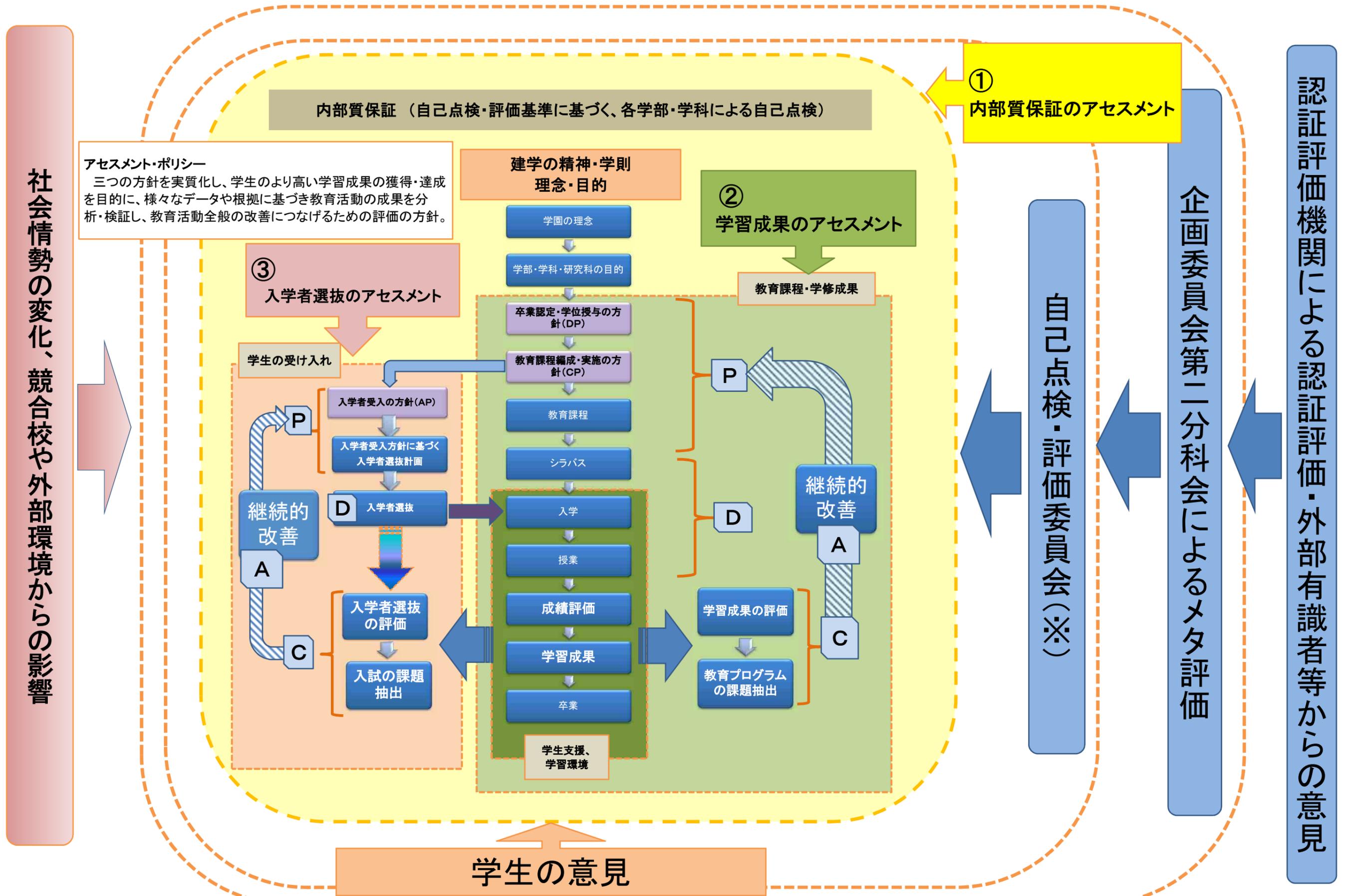
学修成果のアセスメントとは、目標となる学修成果を明確にし、それに対して学生がどの範囲と水準まで獲得したかを把握する取り組みである。測定手法の例としては、定期試験などの直接評価と、卒業生への状況調査や学生に対する満足度調査などの間接評価が挙げられる。また、その機能により、診断的評価（学修前の予備知識、スキルの評価）、形成的評価（学修過程の学力向上や理解度の評価）、総括的評価（学修後の目標達成状況の評価）などに分類できる。

アセスメント・ポリシー

学生の学修成果の評価（アセスメント）について、その目的、達成すべき質的水準及び具体的実施方法などについて定めた学内の方針。個々の授業科目においては、学内の方針に基づき、成績評価の方法・基準などが学生便覧やシラバスに明示され、学生に周知されることが一般的である。

高等教育に関する質保証関係用語集（第4版）より

聖徳大学・聖徳大学短期大学部 内部質保証(アセスメント・ポリシー)体系図



(※)各学科の内部質保証体制の評価は、専門チームを編成し、「内部質保証チェックシート」を用い、学科とのヒアリングを行いながら実施する。